



岐阜本巣特別支援学校地域支援センターでは、地域の方々や教育や療育に関係するの方々に対して、相談対応や情報提供を行っています。コロナ禍ではありますが、感染防止に留意しつつ、来校相談、訪問支援や支援具・教材の貸出をしています。お気軽にご相談ください。

今号は、多くの相談事例でケースにみられた児童生徒の「気になる行動にどう対応してよいか？」について応用行動分析を活用した行動支援の事例をご紹介します。

気になる行動に対するアプローチ、どうしたら？

気が付くと子どもの「苦手なこと」「変わってほしいところ」ばかりが気になってしまう・・・。「ほめる」ことより、「注意」や「叱る」ことの方が自然に出てしまう。頭では「ほめる」ことが重要なのは分かっているのに・・・。そんな悩みはありませんか？

頑張ってもかかわっても、何回注意しても変わらない・・・。そんなことが続くと「子どものせい」にしているませんか？「自分のせい」と感じてしまっていないですか？

『応用行動分析学(ABA)』とは

- ・行動を個人(本人)と環境(周りの人や物)との相互作用として捉える。
- ・行動上の問題の原因を発達の遅れや偏りのせいなどにせず、かかわり方の工夫で解決を図る。

行動には、何かきっかけがあります。そしてその行動によってどんな結果が生じるかによって、行動がまた起きるか、もう起きないかが変化します。行動の直後に本人にとって「うれしいもの・こと」がつくと、その行動が維持されるだけでなく、増えたり、強まったりします。行動の直後に本人にとって嫌なことがなくなっても、同じように行動は起きやすくなります。

気になる行動が続いている・・・。そこでやるべきことは「環境への介入」です。**その行動が起こるきっかけとなる環境があるはずで、それが何かを考えます。**事前に少し準備や工夫をすることで「やってみてもらいたい適切な行動」を引き出します。「適切な行動」が引き出されたらあとは褒めるのみです！ここでのポイントは、もっと褒めようでなく、褒め方の作戦を考えることです！

例

なぜ友達を叩くの？
何度も注意をしているのに減らないの？

叩いた後に教師の方を見るな。

好きな先生が来たときに、叩くことが多いな！
「叩いちゃだめ。」と注意されても嬉しそう？

注意されていても、その先生が近くに来てくれて関わるができることが行動を強化しているかもしれない。

その先生がいなくても叩くとき、誰かに見てほしいか、近くに来てほしいときが多いな。

先生とかかわりたいときには、呼んでくれたらいいのにな。

どのように呼んだらいいか伝えよう。

・そばに行って肩をトントン

・「あー」と声を出して呼んでみよう

初めは近くの教師と一緒にやってみよう！

呼んだら来てくれたね！と一緒に喜ぼう！

「呼んだら来てくれた」「呼んでよかった」が続くと、叩くことが減った！！



「気になる行動」対応を考えるときの6ステップ！

(1) 「気になる行動」「困った行動」は何か、具体的に定める。

具体的にする例：パニックになる(動きが見えない)→床に寝て足をバタバタする。自分の頭を叩き続ける。
給食を食べない→(給食を食べないで)大きな声で叫ぶ。

(2) 行動の記録を取る。

- 客観的な記録を取る。【行動の有無、回数(頻度)、継続時間、起こるまでの時間、激しさ(強度)】
- 行動が起きたときの前後の状況を記録する。

行動の前：「いつ」「どこで」「何をしているときに」「どのくらいのペース」

行動の後：「誰がどのように対応したか」「その結果、その行動がどうなったか」

- 行動の前後の情報を集める。

関連状況：睡眠、疲労、体調、時間的・空間的に離れた要因

起きていないときの行動の前後の情報も集める。(なぜ起きないのか、落ち着いていられるのか)

(3) 前後の状況を分析して仮説を立てる。→代わりの適切な行動を決める。

(4) 仮説に基づき支援プランを立てる。

(5) 実行する。

(6) 結果から仮説を修正する。

【書籍の紹介】

発達障害のある子の行動問題を読み解く！
応用行動分析から学ぶ
子ども観察力&支援力養成ガイド
平澤紀子著 学研教育出版

このような支援シートを作成して記録を取ったり、支援を検討したりすると分かりやすいです。

行動観察支援シート

気になる行動 (具体的にどのような行動をするのか)

気になる行動があった時間帯に○(1回)、◎(2~3回)、●(それ以上)を記録

曜日	月	火	水	木	金
登校前					
登校時					
朝の準備					
朝の会					
1 時間目(科目)					
休み時間					
2 時間目(科目)					
休み時間					
3 時間目(科目)					
休み時間					
4 時間目(科目)					
休み時間					
給食					
休み時間					
掃除					
移動					
5 時間目(科目)					
休み時間					
6 時間目(科目)					
下校準備					
帰りの会					
下校時					

1 気になる行動が起きやすい場面

活動場所

時間帯

人との関わり・環境

2 気になる行動が起きない場面

活動場所

時間帯

人との関わり・環境

3 気になる行動が起きない対応、うまくいきそうな支援(いつ、どこで、誰が、何をする)

気になる行動が起きやすい状況を変え問題を起こしてもその行動を強化する結果が生じないようにする。

気になる行動が起きにくい状況を使って望ましい行動を起こしやすくし、達成感が得られるようにする。

代わりの行動を起こしやすい状況をつくり、問題を強化していた結果が生じるようにする。

※(必要な時には枠を広げたり、活動にあった時間帯に変更したりしてください)



書籍・教材貸出ご希望の方、興味のある方は、まずはお電話をください。
地域支援センター 特別支援教育コーディネーター：高田

岐阜本巣特別支援学校 TEL 058-239-9712

E-MAIL c27398@gifu-net.ed.jp

センター直通携帯電話 090-6806-3774

